

# 日本人の忘れもの

NIHONJIN NO WASUREMONO 第2部 忘れもの 14

## 競い合う心



木田安彦 画家

いつの頃から自転車のマナーは、こんなにも悪くなったのであろうか。無灯で携帯電話をしながら、あるいは煙草を吹かしながら、人がいても避けようともしないで走ってくる無礼者など、眼を悪くしている私には、夜の散歩など命がけである。しかも圧倒的に女性が多い。

### 競い合うことで 他人の心も理解でき、 切磋琢磨すること で友情も育まれる。

にもかかわらず、その男性は一顧だにせず走り去ってゆく。猛暑の日であるし、私は年々年々で迷ったが、絶対許してはならぬと猛追した。

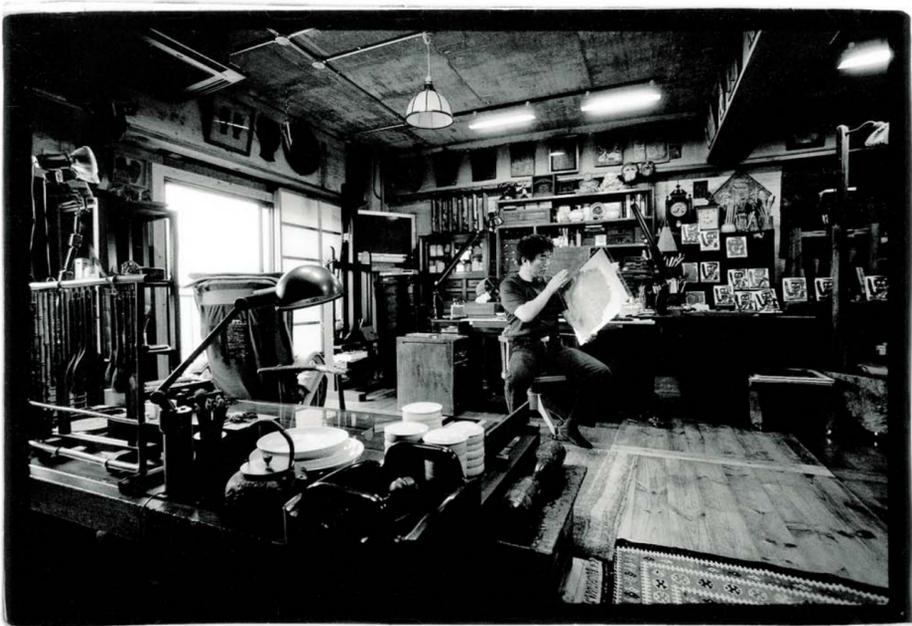
何か信号で追いつき、姓名、年齢、職業を聞きだして見れば、なんと大病院の医師だという。人の命を守るはずの職業の者が人を倒して助けも謝りもせず逃げ去る。あまりの理不尽さに警察に引き連れようと思っただが、医師不足



鍛えてもらいたいものだ。私も小学生から中学生にかけて、柔道、中学ではさらに剣道、大学生の時に少林寺拳法で身体を鍛えた。身体が強くなるに精神面も変貌する。鍛えた結果、何があっても怖くないという気持ちを持った。

作家として自立してからも、この事が何につけても私の支えになっていると思う。そしていつまでも励む心、高める心を持ち、それを極める心まで持つていきたいものと念願している。

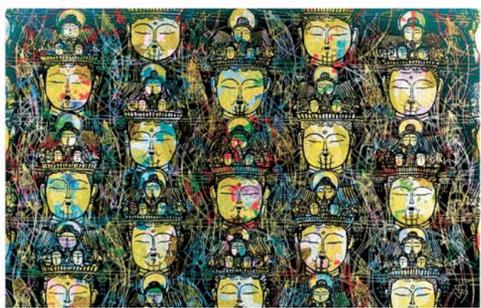
気持ちも理解できる。努力したからと必ず報われる訳ではないが、努力しないで報われる事は在り得ないのだ。切磋琢磨することによって向上するのだと思う。そして競い合う心と心により友情も育まれ、いじめ問題の解決法の一つになるのだと思う。



健全なる精神は健全なる身体に宿るという事が私の支えになっている。画室で制作する木田安彦氏。写真=三國賢一

### 健全なる精神は健全なる身体に宿る

いつの頃からであろうか、子供に競わせるのは悪だという教育が蔓延り、無気力な若者を増やしたようだ。何事も競う気持ち無くして向上は在り得ない。また競い合う事により他人の心、



「三十三間堂」(ガラス絵 2011)

●きょうの心伝て 募集  
1944年生まれ。67年、京都教育大特修美術科卒業。70年、京都市立芸術大専攻科修了。博覧会を経て、75年、京都府文化功労賞。06年、京都府文化功労賞。11年、京都市文化功労者。

戦後、日本人は物の豊かさと引き換えに大切なものを忘れてきたのではないだろうか。日本人が忘れつつある価値観が今も生き続ける千の都・京都から温故知新の知恵を発信する。(毎週日曜日に掲載します)

### きょうの季節せ(九月)

沙魚釣るや  
水村山廓  
酒旗の風

嵐雪



「彼岸中日の嵐は中気の薬」といって、食欲のための釣り易く、馬鹿魚と彫られる。

「水村山廓酒旗の風」は杜牧の「江南春」の「千里鶯啼緑紅映」に続く文言を引用し、春ののどかな景を秋の趣向に仕立てている。巖谷小波は張継の「楓橋夜泊」を借り「月落烏啼霜や天満の橋の上」「霜天満」を巧く言葉掛け替えた。(文・岩城久治)

### 「きょうの心伝て」

若林 裕

牧師・本講師(宇治市木幡 60歳)

### 祈りの心

初秋の京都、観光客に混じり名所旧蹟を訪ねるのもよいが、路地裏を歩くのも一興である。由緒ある町並みと、町を守るように辻々に安置されるお地藏さんのお顔に心とまされる。しばしば、道端のその祠の前で祈りを捧げる人にも出会う。また路傍の小さな神社仏閣で、手を合わせる人たちの姿を見かける。家や仕事のこと、あるいは国家の安寧など、その願いはさまざまだが、日々の喧嘩の一時、手を止めて静かに神仏に向かう人々の佇まいにも、古都の伝統の重みが感じられるのである。

日本人は古来、自然を畏敬し、先祖に感謝し、あらゆるものに神聖さを見る自然宗教を大切にされてきた。それが寛容な気遣いと、自らの共同体を愛する思いの源泉だろう。

私は創唱宗教に携わる者だが、鎮まってお祈りする人々の「祈りの心」に深く思いを寄せる。そこに今日を生きたる信頼と希望が垣間見える。今の自分の信仰も、そのような祈りの伝統に確かに接ぎ木されているように。

### 「きょうの心伝て」募集

●あなたの思う「日本人の忘れもの」は何ですか?暮らしの中で忘れてはならないと思う日本人の心の系譜や、伝えたい京都に残る心遣いなどをお寄せ下さい。京都新聞社で選考、選別する場合もあります。原稿は返却いたしません。タイトル(12文字以内)と本文(400文字以内)、郵便番号、住所、氏名(匿名は不可)、職業、年齢、電話番号を明記し、〒604-1857 京都新聞COM「きょうの心伝て」係まで。E-mail: wasuremono@mb.kyoto-npc.jp Fax: 075-229-2200

●日本人の忘れものは、京都新聞ホームページ [http://kyoto-npc.jp/kyo\\_nw/info/nw/](http://kyoto-npc.jp/kyo_nw/info/nw/) からご覧いただけます。

# きょうから、あしたへ。

京の街を中心に、近畿圏へ広がるネットワーク。地域社会に育てられた感謝を胸に、きょうから、あしたへ。

これからもいつもみなさまの近くで、歩み続けてまいります。

「ON YOUR SIDE ~ 一緒にうれしい」京都中央信用金庫です。

# ON YOUR SIDE

### 中信ビジネスフェア2012 入場無料

第24回 大商談会 10月17日(水) 10:00-17:00  
10月18日(木) 10:00-16:00

場所 京都府総合見本市会館(パルスプラザ)  
〒612-8450 京都市伏見区竹田島羽野町5 TEL.075-611-0011  
※ご会場には、無料シャトルタクシーをご利用ください。  
(竹田駅西口ニパルスプラザ)  
※ご会場のみなさまにドリンクサービス

お問い合わせ 京都中央信用金庫 広報部サークル課内  
中信サクセスクラブ事務局  
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入道鉾町91番地  
TEL.075-223-8382(平日9:00-17:00) FAX.075-223-5709  
Success Business Site <http://www.chushin-sc.jp>

京都中央信用金庫  
京都市下京区四条通烏丸西入ル  
TEL.075-223-2525 FAX.0120-201-580  
[www.chushin.co.jp](http://www.chushin.co.jp)